

大阪21世紀協会 第23回賛助会員講演会・交流会 10月28日(at天王寺都ホテル)実施

講演・近畿日本鉄道株式会社取締役副社長 岡本直之氏



近鉄阿部野橋
ターミナルビル整備計画



岡本直之氏



茶谷幸治氏

再開発で大きく飛躍する阿倍野・天王寺地区のまちづくりの中核となる近鉄阿部野橋ターミナルビル整備計画。先ほど開催いたしました賛助会員講演会では、このまちづくり計画の概要を中心に、近畿日本鉄道株式会社取締役副社長・岡本直之氏にあべのエリアの魅力的なまちづくりをテーマに講演いただきました。

文化と歴史のまち上町台地に、地下5階地上60階高さ約300メートルの日本一の高層ビルを平成26年完成予定で建設する計画内容や、南大阪エリアの新しい文化・観光拠点となるプロジェクトに言及していただきました。

また、長崎さるく博'06でコーディネイトプロデューサーを務められた茶谷幸治氏(大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会チーフプロデューサー)から上町台地のまち歩きの魅力についてもお話していただき、約200名の参加者で会場は熱気につつまれました。

交流サロン「21cafe in アベノ」 12月1日(at天王寺都ホテル)開催!「都市文化におけるミュージアムの役割」

ゲスト 蓑 豊氏(サザビーズ北米本社副会長・金沢21世紀美術館特任館長・大阪市立美術館名誉館長)



大阪21世紀協会では、さまざまな活動に携わる人たちの情報交換のためのプラットフォームとして、交流サロン「21cafe」を継続開催中です。18回目のサロンは、世界各都市のミュージアムに精通した蓑氏に「都市文化におけるミュージアムの役割」をテーマにお話しいただきます。まちづくりについて示唆に富んだアドバイスや大阪の活性化についての提言です。

※蓑 豊氏：美術史研究者として慶応義塾大学からハーバード大学に進んだ後、米国各地の美術館の東洋部長として活躍。1996年に大阪市に招かれ、大阪市立美術館館長。2004年から金沢21世紀美術館の初代館長を兼任。開館以来毎年150万人を超える集客を継続させ、世界中から高い評価を集める。現在はサザビーズ北米本社副会長として、アジアの現代アートと世界中のコレクターの橋渡し役として活躍。

MEET OSAKA Vol.29発行



アートの季節の11月～来年2月までの伝統芸能公演&展覧会を中心にした情報満載の「MEET OSAKA」Vol.29を刊行、近畿一円の空港、主要駅、ホテル、ツーリスト・インフォメーションで無料配布中です。巻頭特集は、文楽人形の首(かしら)をとりあげ、主役・準主役級に使われる主な首を写真つきで解説。細やかな動きと相まって表情豊かに登場人物を演じる人形は、文楽に欠かせない重要なアイテムです。首の種類や特色を知れば、鑑賞の楽しみも増すことでしょう。ちなみに大阪・日本橋の国立文楽劇場では、開場25周年記念公演開催中。

関空ウエルカム映像、秋バージョン放映中!



もうおなじみになりましたでしょうか? 関西空港税関エリア内にて放映されている「ウエルカム映像」。四季折々のバージョンで今流れている秋の映像は、水都大阪2009会期中の大阪の橋のイルミネーションや、京都、奈良、神戸など関西の魅力満載です。大阪や関西のイメージを改善し高めるためには、百聞は一見にしかずで映像による働きかけが効果的です。海外から関西に到着する来訪者に関西の美しい風景や魅力を紹介していますが、今後はこの映像を“ご利用ご自由”つまり著作権フリーのライブラリーとして提供していく予定です。